

がんなんかに負けないぞ！

特集シリーズⅡ

◆「早期発見・早期治療」が“命”を救う！

～ がんから身を守れるのは、あなた自身 ～ 『毎年、検診を受けよう』

がんになっても「早期発見」できれば、それだけ完治の可能性が高くなるだけでなく、治療に要する費用や時間などの負担も軽くなります。そのため、毎年、がん検診を受け、健康チェックする習慣を身につけることが重要です。

1. がん検診の種類

区分	検診方法	対象年齢
胃がん	胃X線検査等	40歳以上
肺がん	胸部X線検査等	
大腸がん	便潜血検査	30歳以上
乳がん	マンモグラフィ	
子宮がん	細胞診	20歳以上
前立腺がん	血液検査	50歳以上

がん検診は毎年1回、
乳がんは2年に1回、
受けましょう！



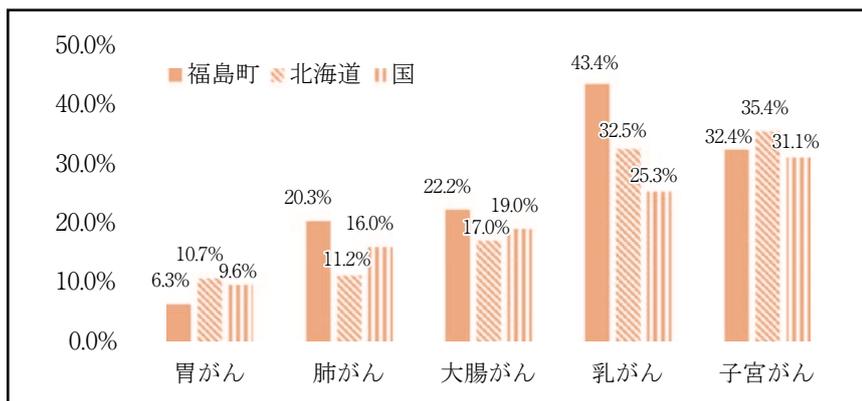
◆今年4月から、国が推奨するがん検診の検査内容について、一部を変える方針です。

～胃がん検診は、「胃内視鏡検査」が新たに加わり、エックス線か内視鏡のいずれかの検査を受けることになります。

なお、胃がん検診対象者は、50歳以上への引き上げと受診間隔も2年に1回に変更になりますが、胃エックス線検査については、当面、「40歳以上、毎年1回」としても良いことから、当町では、これまでと同様に実施します。



2. がん検診の受診率



(資料：H25地域保健・健康増進報告)

当町のがん検診の受診率は、国や北海道と比べ、肺がん、大腸がん、乳がんは上回っていますが、胃がん、子宮がんは低い傾向です。

また、日本は、諸外国の受診率と比べると低く、子宮がんでは、日本の30%台に対し、アメリカは80%台、フランス、韓国は70%前後と大きく差があります。

3. 医療費が高額な疾病とは？

【H26高額医療費】 (単位：万円)

平成26年度国保会計で、200万円以上の高額な医療費の支払いがあった疾病は、件数・医療費、いずれも「がん」がトップとなっています。

No	病名	件数	医療費
1	がん	21	9,812
2	脳疾患	12	4,578
3	腎不全	6	4,158



お問い合わせ先

保健福祉課健康増進係

☎47-4682